

《共通基礎科目 教養教育科目》

科目名	私たちと文化				
担当者氏名	山田 正人				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択必修	開講年次・開講期	1年・秋期

《授業の概要》

「異文化理解」という視点から、様々な国の文化を知る。クラスをグループに分けて、様々な文化について調べてもらい、発表を通して、違い・共通点・課題などを共有し、多様な文化を受け入れることができる姿勢を見につける考え方を探る。

《テキスト》

教科書は指定しない。

《参考図書》

授業内で、プリント等を配布。授業時間内で指示する。

《授業の到達目標》

「文化」という概念は広い。様々な国や民族が持つ文化を尊重する姿勢を子ども達に身に付けさせるにはどのようにすればよいのかを考える。

《授業時間外学習》

グループ学習などで、準備をすることもある。

《成績評価の方法》

平常点（毎回の振り返り用紙）40% 課題の提出物（プリント・レポート類）40%
グループプレゼンテーション 20%

《備考》

授業に積極的に参加しない生徒の参加は望まない。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	オリエンテーション	年間計画、評価方法、人間関係トレーニング、課題図書の提示など。
2	文化とは何か	それぞれの持つ文化について定義をさせて、それについて考えを深める。
3	外国の文化	外国の文化を知ろう1
4	外国の文化	外国の文化を知ろう2
5	外国の文化	外国の文化を知ろう3
6	外国の文化	外国の文化を知ろう4
7	外国の文化	外国の文化の共通項や比較を通して、何を、どのように教えるか、確認する。
8	世代間で教えるべき日本文化とは1	環境問題
9	世代間で教えるべき日本文化とは2	生活様式問題
10	世代間で教えるべき日本文化とは3	教育問題
11	世代間で教えるべき日本文化とは4	貧困問題
12	日本文化の中で伝えるべきものとは	ダイヤモンドランキング
13	子どもに教えるべきものとは	グループ討議1 {テーマを変えたグループを作り、どのような文化を次世代に残すか考える。}
14	子どもに教えるべきものとは	グループ討議2 {テーマを変えたグループを作り、どのような文化を次世代に残すか考える。}
15	発表大会	発表を聞いて、評価をする。